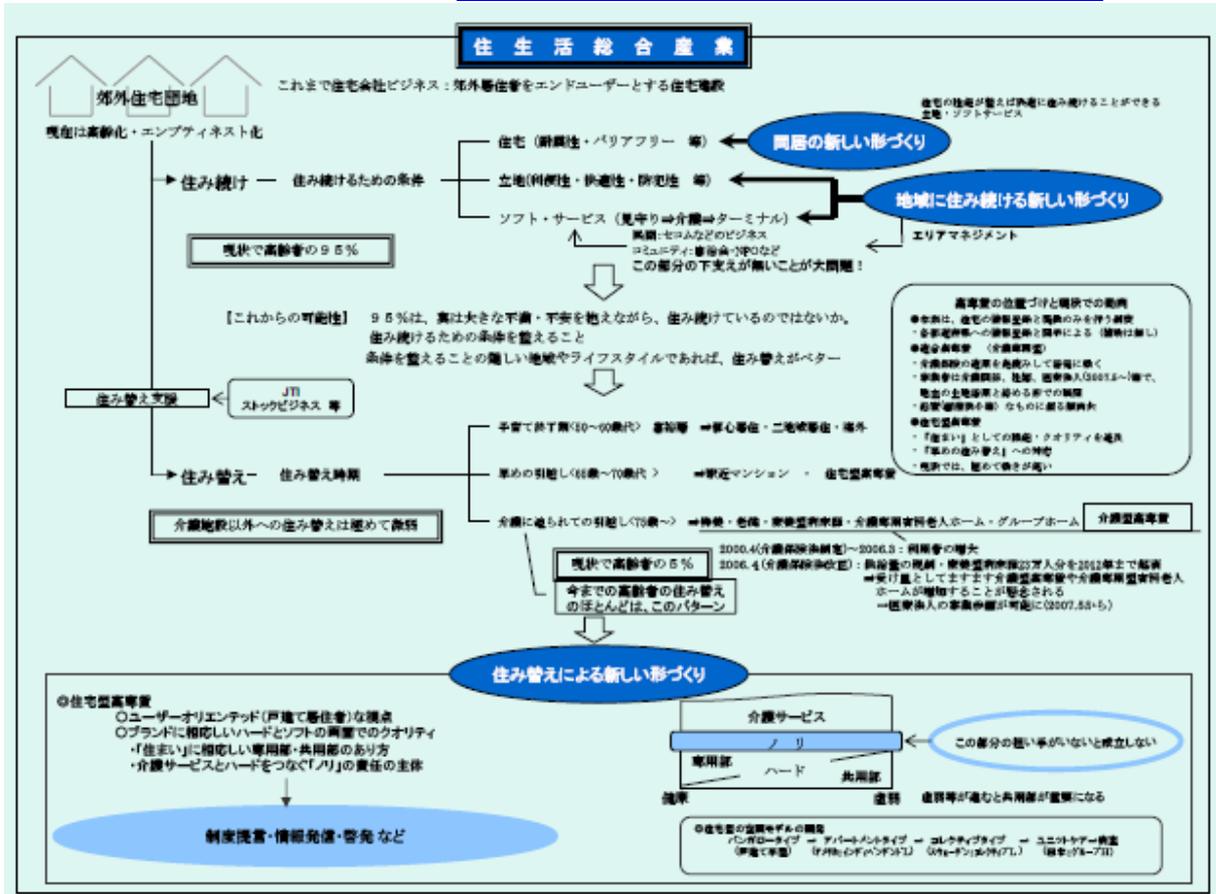


# < 報 告 > 都市のシニア世代居住の見取り図と考え方

吉武都市・住宅計画事務所代表 吉武俊一郎

## 都市のシニア居住見取り図 (拡大図はトップページから参照ください)



### 1. 超高齢社会における住生活総合産業

- ・ 団塊世代の高齢化で、都市郊外住宅団地の衰退がいよいよ深刻になります。
- ・ 都市居住者が高齢になっても元気に自立して住み続けられる住環境づくりが住生活総合産業の重要な役割と考えられます。

### 2. 「住み続け」の課題と新しい形づくり

- ・ 親子同居の新しい需要に対する住生活総合産業としての取り組みが求められています。
- ・ また住生活総合産業は、住宅の居住性能評価と同様に、地域の居住性を評価することが必要です。さらにエリアマネジメントなどを通して地域で高齢者の生活を総合的に支える取り組みが必要です。

### 3. 「住み替え」の課題と新しい形づくり

- ・ 我が国では「早めの住み替え先」となる元気な高齢者向けの住宅供給が進んでいません。
- ・ 高齢者専用賃貸住宅（高専賃）も介護型の面積狭小なものに偏向しております。

### 4. 住生活総合産業の取り組み

- ・ 住生活総合産業では、住宅のハードと様々なサービスを結びつける「ノリ」の部分で、生活とサービスの質を保证する取り組みがキーとなります。
- ・ さらに情報発信や啓蒙、各自治体・NPOとの連携システムづくり、提言を行うことが住生活総合産業の取り組みと考えられます。